

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2026年4月
第105号

116年の感謝を込めて



3月31日 ありがとう留萌本線お別れセレモニー
石狩沼田臨時駅長へ花束を渡す^{まつおはるか}松尾春花さん

- P2 第1回定例会 主な議案
- P4 町政を問う 4名（5件）が一般質問
- P6 シリーズ検証 「一般質問のその後を追う」
- P7 議会の動き
- P8 予算等審査特別委員会



沼田町議会

令和8年 第1回 定例会

3月10日～17日

令和8年第1回定例会が上記の日程で開催され、初日には町長の町政執行方針および教育長の教育行政執行方針の後、4名の議員が一般質問を行いました。

令和8年度の一般会計・特別会計予算案と1件の計画変更案、4件の条例案は、予算等審査特別委員会に付託し、11日から16日の期間で審査を行いました。（詳細は8～9ページ）

上程されたおもな議案

以下の議案について、全会一致で同意、承認されました。

- 沼田町過疎地域持続的発展市町村計画について
- 新たな条例の制定について
 - ・沼田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- 以下の条例の一部改正
 - ・沼田町第1号会計年度任用職員報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例
 - ・沼田町職員の旅費に関する条例
 - ・沼田町国民健康保険税条例

令和7年度補正予算

一般会計

令和7年度一般会計の予算に1億7728万円を追加し、総額を83億9422万円とする補正予算を承認しました。以下は主な事業となります。

■自動車学校費

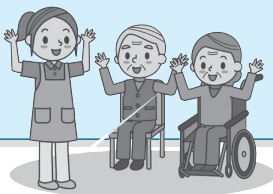
- ・指定管理料 1500万円
- 年度末の生徒数と物価高騰の影響により、収入不足が見込まれるため。



■介護支援費

- ・デイサービスセンター指定管理委託料 増230万円

利用者の減少により収入不足が見込まれることから。



■道路橋梁維持対策費

- ・町道除雪委託料 増1000万円



■戸籍住民基本台帳費

- ・戸籍附票旧氏作成システム改修委託料 185万円
- ・旧氏連携対応システム改修委託料 65万円
- ・氏名振り仮名市町村長記録一括登録住基システム改修委託料 87万円

■社会福祉総務費

- ・国民健康保険特別会計操出金 増745万円
- 国保特別会計への繰り出し基準の確定による。



■スキー場管理費

- ・会計年度任用職員報酬 増27万円
- ・圧雪車修繕料 増42万円
- ・駐車場除雪費 増135万円

暖冬により駐車場の路面を固める作業量が増加したため。



人事案件

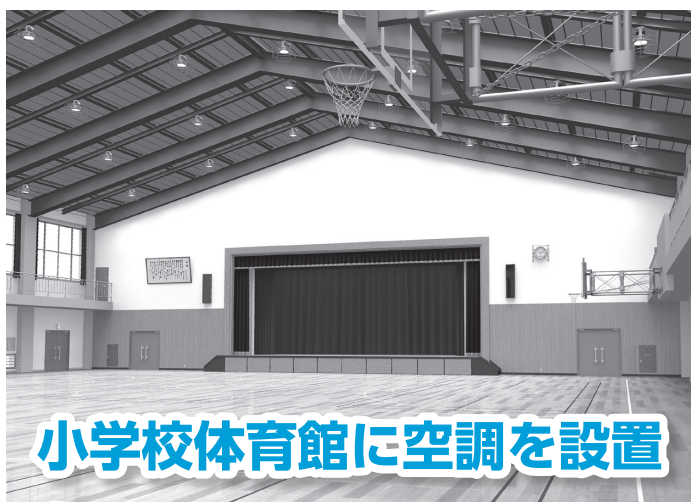
■公平委員会委員の選任について

すず 鈴木 かず とし 稔氏 (新)

の選任について同意しました。

臨時会

令和8年第2回臨時会 3月2日



沼田小・中学校の教室にはすでに冷房設備が設置されていましたが、災害時に避難所となることが想定される学校体育館には冷房などの空調設備が設置されていませんでした。

地球温暖化による猛暑の発生が増えている中、国からの交付金などを活用して小学校の体育館に空調設備を設置する補正予算を承認しました。

■沼田小学校体育館空調設備工事

2530万円

令和8年第3回臨時会 3月27日



北海道沼田開発株式会社が運営するグリーンスコアレカントリー倶楽部より営業の継続が困難な状況が続き、固定資産税を減免してほしいとの申請がありました。

ゴルフ場は地元経済への影響が大きく、沼田町には必要な施設であると判断して減免を承認しました。

■ゴルフ場固定資産税

△621万円

事務局の人事異動

4月1日の人事異動により、議会事務局の^{たか}高橋愁人書記が住民生活課主査へと異動になりました。代わって住民生活課より^{おおやまゆうた}大山勇太主査が書記として着任されました。



不慣れですがよろしくをお願いします

町長、教育長への

一般質問



鵜野 範之 議員

GXの方向性と景観・環境保全の両立は

GX推進で2050年の未来を造る第一歩としたい



横山 茂 町長

鵜野

本町でのGX（グリーントランスフォーメーション）推進は、再生可能エネルギー量の増加だけでなく、地域の価値を向上させながら経済、社会、環境の調和を図る総合的な施策であるべきと考える。

まちづくり戦略としてのGX推進の位置づけと目標や工程表などの具体的な状況はどうなっているのか。

再エネ導入の方向性や地域経済への波及効果の他、農村景観、森林眺望などに及ぼす影響の評価の考えはどうか。

住民合意形成と情報公開、農地転用や森林伐採を伴う開発の判断基準、設備撤去、現状復旧、跡地管理に関する業者などの責任についての方向性を聞きたい。

町長

町では、令和7年度より地域活性化起用人制度を活用し、民間から2名のGX推進員を2年間受け入れ、専門的な知見を最大限に吸収し、町独自の戦略へと発展させていく考えです。

令和8年度予算では、町民にGXを身近に感じていただくための「みんなで作る沼田ゼロカーボン事業」を提案しています。

影響評価や住民合意、リスク管理に関しては、農村景観や森林保護、丘陵地の眺望を守るために、再生可能エネルギー開発に係る条例等の整備を検討し、負の遺産を後世に残さない決意で考えています。また、住民の皆様の景観や環境への懸念を適切に行政判断に反映させるため、透明性の高い情報公開と対話の場を大切にしていきます。



畑地 誉 議員

子どもたちの生きる力を伸ばすには

読解力と課題解決力の向上を図っていききたい



三浦 剛 教育長

畑地

GIGAスクール構想により個別最適及び共同的な学びが充実していると考えますが、一方で、情報収集がインターネット中心に偏ることを懸念している。

地域の関係者との直接的な情報交換や本などのアナログ資源の活用により、記憶定着と文章読解力向上が期待できるとの考えから沼田学における目標設定と達成度、情報リテラシーの実践状況を聞きたい。

また、パスファインダー（調べ方ガイド）を活用した図書館と学校の連携強化などの具体的な工夫や指導方法が必要と考えるがどうか。

義務教育段階で生成AIガイドラインへの対応と今後の方針を聞きたい。

教育長

インターネットだけに頼らない多方向での調べ学習も重要と認識しています。

スマホの使い方については学校運営協議会でも話題になっており、家庭の協力を得ながら地域全体で考える必要があると考えています。

パスファインダーは、小中学校と図書館との連携を深め、他自治体の先進事例を参考に、発達段階に応じた資料提供を検討します。

生成AIの活用方針については、次期学習指導要領を踏まえて町教委として今後示していく考えです。

情報モラルの取り扱いは、家庭・学校・地域・教育委員会が一体的に取り組んで子どもたちにとってより良いICTとスマホ活用環境作りを目指していきます。



上野 敏夫 議員

沼田町は本当に暮らしやすい町なのか

町民の声に耳を傾け、住民サービスの向上を目指す



横山 茂 町長

上野

令和8年度の行政執行方針に示された社会福祉協議会の福祉有償運送サービスや認定こども園の多機能事業所開設の取り組みはもっと早期に進めても良かったと考える。

留萌線廃止により、町民の町外病院への通院、通学、塾通いなどに支障が生じる恐れがあるが、どのように考えているか。

町長

まちづくりに課題がなくなることはないと思いますし、公助のみでは限界があるため、自助・共助も含めた取り組みが必要と考えます。また、アンケートの結果から就労を見据えた産業づくりや魅力ある教育の環境づくりが重要と捉えています。

JR北海道のダイヤ改正により旭川～札幌方面の特急列車が全席指定となり、割引切符の販売が前日までのインターネットによる購入となるため、誰でも容易に割引切符を購入できるようJR北海道に対して要請を行い、沼田町での購入方法の説明会を開催していただく予定です。

今後も町民の意向を踏まえながら現状の課題解決を行い、次の時代に繋げていく考えです。

上野議員のその他の質問

問 横山町長の2期8年の成果について

答 住民福祉の増進を図り、自治体としての責務を果たしていきます。



篠原 暁 議員

ヤングケアラーへの対応は

重層的な支援体制を図る



横山 茂 町長



三浦 剛 教育長

篠原

ヤングケアラーとは、家庭内で本来は大人が行うと想定されているような家事や家族の世話などを過度に行っている18歳未満のこどもと若者というのが定義ですが、本町における実態はどう把握しているのか。

教育長には、学校教員の研修やアンケート、子ども自身が自分の状況に気づくチェックシートの配布や活用を学校現場で行われているのか聞きたい。

町長

本町では保健福祉課や学校、教育委員会が実態の把握を主に行い、空知振興局へ毎年報告しています。該当する事例は現在ありませんが、ヤングケアラーの疑いを始め、虐待など様々な課題を抱

学校でも注意深く見守ってもらうよう指導に努めていきたい

える子どもを包括的に把握し、適切な支援ならびに問題の未然防止に努めています。

教育長

学校では、北海道教育委員会作成のヤングケアラー支援ガイドラインに基づき、計画的に校内での研修を実施しています。

児童生徒への働きかけは、学級活動の時間などを活用して、理解を促すほか、窓口相談の周知を行い、一人で抱え込ませない環境づくりに努めています。

また、日常生活の観察、生活状況アンケートなどで見過ごしを防ぎ、スクールカウンセラーを含む関係機関との連携によって、児童生徒の状況の把握を行っています。

今回の傍聴者は2名でした



沼田町議会の定例会はライブ配信で!

スマホやパソコンのYouTubeを使って見ることができます。生中継なので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。

YouTube再生回数
177回でした

シリーズ検証

第7弾

一般質問のその後を追う

議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。
シリーズ第7弾は令和7年第3回定例会における長野議員の一般質問です。



問 透析患者交通費助成と乗り合い介護タクシーの実現を
答 困っている方の支援対策は考えていかなければいけない



★その後の対応（保健福祉課）

令和7年12月から社会福祉協議会において、週3日「福祉有償運送車両」による自宅から深川市立病院往復の試験走行を行いました。

令和8年4月より週6日の本格開始により一人での移動が困難でバスやタクシーなどの公共交通機関を利用することが難しい方を対象に事前審査がありますが町民の皆さんの「行きたい」を応援する仕組みがスタートしました。往復利用料金は2000円になります。



社会福祉協議会が運行する福祉有償運送車両

総務民教建設常任委員会報告

提言「自然エネルギーの可能性について」

昨年4月から取り組んできた自然エネルギーの活用に関する所管事務調査報告を行いました。ポイントは『エネルギーの地産地消』です。豪雪地であっても積極的に太陽光発電を取り入れ、年間平均での光熱費削減が可能ともわかり、以下のような提言をまとめ議会で報告しました。

(1) 省エネ新技術の促進

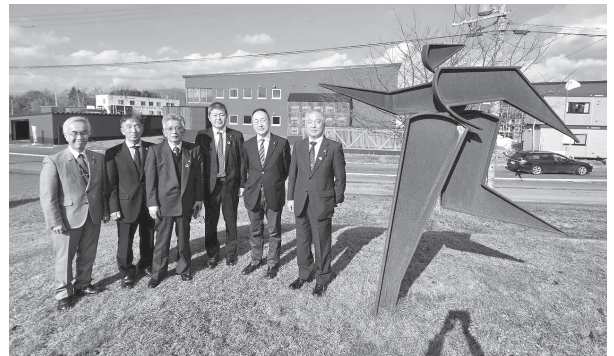
ゼロカーボンシティ宣言を実効性のあるものとするために積雪地にも有効なエコキュートや地中熱利用などの新技術導入を望みます。

(2) 沼田らしいエネルギーの地産地消への挑戦

雪利用の温度差発電や用水路での水力発電など地の利を活かした技術を企業や研究機関と協力して進めるよう望みます。

(3) 脱炭素政策と環境保護の両立

太陽光発電推進は、環境省が定めるガイドラインに従い過度の開発を規制するよう望みます。



ニセコ町の光熱費が月あたり1万円という民間アパートの前で

～平和の文化の推進～

平和に関する意識調査を引き続き行っています。QRコードからアンケートページにつながります。



議会改革調査特別委員会

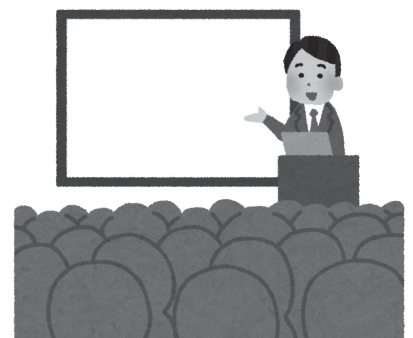
議員定数についての議論経過報告

これまで議会改革調査特別委員会では、「議員定数」について議論するうえで、有識者の意見や資料も参考にし、議員間で繰り返し議論を重ねてきました。その中で、「議員定数」と「議員報酬」は分けて議論すべきといった意見もあり、テーマごとに整理しながら検討を進めてきたところです。

令和8年1月23日に開催した議会改革調査特別委員会において、各議員が次期任期における議員定数について意見を述べた後採決を行い、議会として議員定数を現在の10名から1名削減し、9名とすることでの意思決定を行いました。

こうしたこれまでの議論の経過や考え方について、町民の皆さまに広くお伝えするため、令和8年4月22日の午後6時より沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」にて議会報告会を開催いたしました。

報告会の様子は次号「みんなの議会」106号にて掲載いたします。各議員の意見は次のとおりです。



現状維持				定数削減							
	大沼委員	久保委員	篠原委員		小峯委員	畑地委員長	長野委員	上野委員	鶴野委員	伊藤委員	三浦副委員長

令和8年度 予算等審査特別委員会

3月11日～16日

令和8年度一般会計・特別会計予算と条例の審査が特別委員会に付託され、各課からの説明に対して慎重に審議をした結果、意見を付した上、全会一致で承認されました。

各課への質疑の様子を一部紹介します。



各課からの説明を受け予算審査中

総務財政課



伊藤委員

ふるさとづくり基金に依存した予算組になっていないか。

答 ふるさとづくり基金を恒常的な事業に充てなければ予算を組めません。

農業推進課



久保委員

雪中米30年に合わせての食料流通備蓄構想へ働きかけが出来ないか。

答 資料作成等の費用を予算化している、国への要請活動で、雪中米とリンクし利雪による効果をPRしたい。

住民生活課



上野委員

ペットと共生できる公営住宅は住む必要があるのか。

答 問い合わせもあり、次年度の入居を目指しています。

産業創出課



伊藤委員

バス転換での運行が始まるが、燃料高騰や冬場の路線確保の対応は。

答 沿線自治体との協議で決めていくことになり、道路確保も含め要請をしていきたい。



長野副委員長

廃線後の石狩沼田駅に人は常駐するのか。

答 協力隊の方と連携しながら、観光協会の機能移転と物販もする予定です。

建設課



大沼委員

水道DXでの効果は。

答 配管改修の早期発見に対応出来る事がメリットです。

教育課（教育委員会）



三浦委員

中学校部活動の指導員に報酬はあるのか。

答 令和8年度から報酬をつけていきたい。

保健福祉課



畑地委員長

あんしんセンターの運営費はふるさと基金に依存しすぎではないか。

答 事業費の精査はその都度行っている、基金に頼らないようにしていきたい。



篠原委員

こども誰でも通園制度は現状の保育士で対応が可能か。

答 現状の定員でも対応はできる。

総括質問

各課との質疑が終了した後、最終日の3月16日に町長に対する総括質問を行いました。

総額66億円の予算に対する事業の精査は



鵜野委員

大型の公共事業がないのに66億円と近年にない大きな規模になっている、恒常的な経費の上昇と将来の投資をどうバランスをとっていくのか。



横山町長

物価や人件費の高騰の影響はありますが、財政規模に対する実質収支の割合を示す比率は4.24%で一般的な目安とされる3から5%の範囲で、危機的な状況ではなく収支の均衡を図れる予算です。

「雪中米30年」「夜高あんどん50回」の連携と効果的な予算を



久保委員

沼田町独自の事業をコンサルタント会社に委託しているが、事業理念がしっかり伝わっているのか。



横山町長

コンサルタント会社に丸投げして取り組むわけではなく、国の制度活用を図って効果的に事業に取り組む上で、適切な連携を図りたい。



畑地委員長 長野副委員長



質問をする鵜野委員



答弁をする横山町長

予算審査の結果 令和8年度予算は、審査の結果次の意見を付して承認をしました。

1. 一般会計におけるふるさとづくり基金の慎重な活用

大型公共事業がない中、既存事業に加えて新規事業が増え続けている現状を踏まえ、ふるさとづくり基金を含む基金依存型の予算構造の改善と効果的な恒常経費の執行により、後世に負担を残さず新たな事業を始められる体制づくりを望みます。

特にふるさとづくり基金は、全国の寄附者への感謝を込めて、メッセージ性のある事業に活用することを望みます。

2. 記念事業と食糧貯蔵流通基地構想の効果的な連携

本年は「夜高あんどん祭り50回」と「雪中米誕生30年」が重なる記念すべき年であることから、町内外へ食糧貯蔵流通基地構想をアピールする絶好の機会と捉え、特産物のブランディングや雪との共生のまちづくりを実現できる政策を望みます。

みんなの広場

沼田町開拓の祖、沼田喜三郎翁が、自身の土地や財産を提供し、留萌本線が開業してから116年、石炭やニシン、農産物を運び地域住民の足となって生活を支えてきた鉄道が廃線となる時が来ました。



令和8年3月31日、石狩沼田駅で「ありがとう留萌本線さよならセレモニー」が開催され、多くの鉄道ファンや町民の皆様に見送られました。



セレモニーで臨時駅長へ花束を贈呈した松尾春花さん（大学生）

Q：留萌本線の思い出は？

A：学校の帰りについて寝てしまったり、試験期は友達と単語帳などで問題を出し合ったりしました。

Q：廃線の日を迎えての気持ちは？

A：沼田町に帰省するときにも利用していたので、寂しい気持ちです。

21時11分石狩沼田発深川行の最終列車を見送りに訪れた鷺尾美優さん（大学生）

Q：留萌本線の思い出は？

A：中学校の仲間がそれぞれ違う高校になったので、列車の中で一緒に話しをするのが楽しみでした。

Q：沼田町への思いは？

A：とても活気のある町。あんどん祭りには毎年参加しているので、今年も来ます。



翌日の4月1日、沼田～深川間の新しい交通体系のバス運行開始に伴い「きたそライナー号運行開始セレモニー」が始発の時刻に合わせ観光情報プラザ前にて開催されました。

鉄道からバスに転換されましたが、持続可能な交通体制の維持に期待しています。



JR北海道は、単独維持困難線区とした留萌本線の廃線により、通称赤線区とした5区間がすべて廃止となりました。

存続を前提に見直しを進める赤字8線区（通称黄線区）は沿線自治体と連携して経営改善に取り組む「アクションプラン」を実施しています。

国は、慢性的に赤字経営のJR北海道に経営改善を行うよう指導していますが、人口減少や都市部への一極集中、交通事情の変化により全道の鉄道網の存続も危うくなると考えられます。国鉄を分割民営化した経緯も含め、国やJRには、鉄道事業を発展、継続させ道民の生活と足を守ることを望みます。

広報特別委員

篠原 暁 三浦実希
畑地 誉 伊藤 淳